

【道内アルペン競技会における】新型コロナウイルス感染症対策について《第2版》

公益財団法人 北海道スキー連盟

アルペン専門委員会

(方針)

- ① S A J新型コロナウイルス感染対策ガイドライン【最新版】(及び、S A Jアルペン委員会 アルペン競技会ガイドライン【最新版])、関係機関が定めたガイドラインに従って感染防止に努める。

競技会を開催する上で、参加するすべての人(選手・コーチ・スタッフ・保護者・応援者・競技役員・メディア等)は、新型コロナウイルス感染症防止に努める。

- ② 各会場の実態に合わせた具体的な内容については、各大会の組織委員会より提示する。

(具体的内容)

1. S A J新型コロナウイルス感染対策ガイドライン【最新版】(及び、S A Jアルペン委員会 アルペン競技会ガイドライン【最新版])、関係機関が定めたガイドラインに従って感染防止に努める。

2. 体調管理チェックシートの記入及び提出。

○競技会に関わる全ての方の体調管理チェックシートの記入、及び提出。(様式を3例提示)

【競技会の参加にあたっては】

- 1) 1日だけの開催の競技会の場合、及び複数日にわたる競技会の初日には、競技日14日前からの「体調管理チェックシート レース14日前【個人用】(様式Ⅰ)」を記入し、学校又はチーム単位でまとめて大会地担当者に提出する。(競技会関係者全員対象)
- 2) 複数日にわたる競技会の2日目以降は、「体調管理チェックシート【レース当日用】(様式Ⅱ)」に記入し、大会地担当者に提出する。
- 3) 日常から自己の健康状態に関心を深める為に、「日常健康チェックシート(様式Ⅲ)」を記入することを推奨する。

○感染者への対応※

大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に、PCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、感染者および濃厚接触者は参加を辞退してください。

#### ○濃厚接触者への対応※

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場を認めても構わない。

#### ○感染疑い者（体調不良〔例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚異常など〕の症状があり、PCR検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、または医療機関を受診しなかった者）への対応※

1) 大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもある為、原則当該選手は参加を辞退する。

但し、次のA. およびB. の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認めても構わない。

A. 感染疑い症状の発症後に少なくとも8日が経過している。

（8日が経過している：発症日を0日として8日間のこと）。

B. 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも3日が経過している。（3日が経過している：解熱日・症状消失日を0日として3日間のこと）

※参考：公益財団法人日本スポーツ協会

国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針

### 3. アルペン競技会における各場面では、以下の内容について特に留意し、十分な対策を講じる。

#### ○開会式・閉会式（表彰式）・TCMの対応

1) 開会式、閉会式実施有無の検討や表彰式については日時・場所を指定し、受け渡しとする方法も模索する。

2) オンラインTCMの実施も模索する。

#### ○ビブ交付（受付）の対応

1) ソーシャルディスタンスを保てるよう室内を設定し、人数制限をする。

2) 受付時の設備（アクリル板、ビニールカーテンの設置）を用意する。フェイスシールドやゴム手袋を着用する。

3) 屋外で行うことも模索する。

4) 2日連続での同様ビブ（ゼッケン）の使用を避ける。使用する場合は消毒する。

#### ○リフト乗車、スキー場での待機

1) リフト乗車やスキー場内の施設、レストラン、食堂の利用については、スキー場の感染症対策注意事項を遵守する。

2) 自家用車での待機も考慮する。

#### ○ゴールハウス内での対応

1) 必要人数以外、出入りする人数を制限する。定期的に換気を行う。

2) アクリル板、ビニールカーテンの設置。フェイスシールド、ゴム手袋の着用。

3) 競技終了後の消毒を行う。

#### ○密集が予想される場所での注意喚起

1) 特にインスペクション（時間差で実施）、スタート地点、コーチングエリア、フィニッシュ地点、告知板付近、応援等ではソーシャルディスタンスを保持し、密な状態にならないように注視し、放送等による注意喚起を行う。

#### 4. 以下の内容を競技会開催要項に掲載する。

##### <新型コロナウイルス感染症対策について>

- 1) 参加するすべての人（選手・コーチ・スタッフ・保護者・応援者・競技役員・メディア等）は、S A J新型コロナウイルス感染対策ガイドライン【[最新版](#)】（[及び、S A Jアルペン委員会 アルペン競技会ガイドライン【最新版】](#)）、関係機関が定めたガイドラインに従って新型コロナウイルス感染症防止に努めてください。
- 2) 以下に該当する場合は参加できません。
  - ・体調がよくない場合（発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、息苦しさ、味覚嗅覚異常等）
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
- 3) 競技会関係者全員がマスクを着用してください。（競技中、選手の不着用は可とする）。
- 4) 手洗い、アルコールによる手指消毒の実施（マイタオルを持参とする）を心掛けてください。
- 5) 他の人との距離をできるだけ2 mを目安に確保し、大きな声でのコーチング、会話や応援等を行わないでください。
- 6) 競技当日、「体調管理チェックシート レース14日前【個人用】（様式Ⅰ）」を記入し、学校又はチーム単位でまとめて大会地担当者に提出してください。（競技会関係者全員対象）  
【もしくは、】  
競技会の初日には、競技日14日前からの「体調管理チェックシート レース14日前【個人用】（様式Ⅰ）」を記入し、学校又はチーム単位でまとめて大会地担当者に提出する。（競技会関係者全員対象）2日目以降は、「体調管理チェックシート【レース当日用】（様式Ⅱ）」に記入し、大会地担当者に提出してください。
- 7) 競技会終了後、[3日以内に大会参加者に体調不良者が出た場合及び、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会時の濃厚接触者も含めて、開催地担当者（※）に速やかに報告してください。](#)
- 8) 「体調管理チェックシート」は北海道スキー連盟HPに掲載されています。
- 9) [その他、各会場（スキー場と関連施設）の実態を考慮した留意事項、各大会組織委員会で告知すべき留意事項を記載してください。](#)
- 10) 上記内容をご理解いただき、参加するすべての方が感染しない、広げない行動を意識してください。

##### （※）大会要項に記載不要

開催地担当者は、7) について報告があった場合、（公財）全日本スキー連盟アルペン委員会担当者及び、（公財）北海道スキー連盟アルペン専門委員長への報告を行ってください。